

田中光顕と渋沢栄一

西暦	和暦	田中光顕 できごと	年齢	関連	渋沢栄一 できごと	年齢	関連	日本・世界の動き
1840	天保 11				2月13日誕生。(3月16日)	0	埼玉県深谷市血洗島	
1841	天保 12				幼名：栄二郎 豪農の長男	1	藍玉の製造販売	
1842	天保 13					2		
1843	天保 14	11月16日誕生。幼名：浜田辰彌	0	高知県佐川町		3		
1844	弘化 1		1			4		
1845	弘化 2		2			5		
1846	弘化 3		3			6		
1847	弘化 4		4		漢籍を学ぶ	7		
1848	嘉永 1		5			8		
1849	嘉永 2		6			9		
1850	嘉永 3		7			10		
1851	嘉永 4		8			11		
1852	嘉永 5		9			12		
1853	嘉永 6	深尾家学校「名教館」	10	経学、算術、武道		13		ペリー浦賀に来航
1854	安政 1		11		家業に精励	14		
1855	安政 2		12			15		
1856	安政 3		13			16		
1857	安政 4		14			17		
1858	安政 5		15		従妹千代(尾高惇忠の妹)と結婚 栄一郎に改名	18		安政の大獄
1859	安政 6		16			19		
1860	安政 7		17			20		
1861	文久 1	武市半平太の道場入門 「土佐勤皇党同志血盟書」	18			21		生麦事件
1862	文久 2	藩校「文武館」入校	19	吉田東洋暗殺伝令役		22		
1863	文久 3	2月京都に上る 4月帰郷 9月謹慎処分	20	坂本、中岡、高杉と出会う 土佐勤皇党弾圧	江戸遊学、千葉栄二郎道場入門 横浜焼討中止。京都に出奔	23	尊王攘夷に感化 井伊大老暗殺	高杉「奇兵隊」編成 薩英戦争
1864	元治 1	8月脱藩・長州入りその後大阪へ	21		一橋慶喜に仕える	24		池田屋事件 4国連合艦隊、下関砲撃
1865	慶応 1	7月京都 8月馬関、高杉の弟子(帯刀贈呈)	22	伊藤俊介、山県狂介と交友	一橋家歩兵取立御用掛	25		第2次長州征伐
1866	慶応 2	丙寅丸機関長 九州地区	23		幕臣となる	26	徳川慶喜、征夷大將軍	薩長同盟 孝明天皇崩御 將軍家茂死去
1867	慶応 3	長州と京都 8月陸援隊副将格 12月高野山義挙	24	近江屋暗殺現場急行、葬儀	徳川昭武に従ってフランスに 御勘定格陸軍付調役	27	パリ万国博覧会使節団	大政奉還 王政復古 11月坂本・中岡暗殺
1868	明治 1	2月御親兵取調役 兵庫県権判事	25	伊藤博文の客分	1月フランスより帰国	28	静岡で慶喜に面会	戊辰戦争 江戸城入城
1869	明治 2	東京へ 大阪へ・会計官監督司知事(正七位)	26	伊藤、兵庫知事罷免後、 会計官権判事	明治政府・民部省租税正 民部省改正掛掛長兼務	29	静岡藩に「商法会所」設立 大蔵重信から大蔵省へ	二官六省制定
1870	明治 3	結婚①(多田耕作の娘)後すぐ離婚	27		官宮富岡製糸場設置主任(正七位)	30		
1871	明治 4	辰子(酒井忠顕二女)と結婚② 大蔵少丞任命 戸籍頭となる 岩倉具視米欧使節団理事派遣(従五位)	28		井上馨大蔵大輔の部下 紙幣頭となる	31	井上-渋沢-田中ライン	廃藩置県
1872	明治 5		29		大蔵少輔事務取扱(正五位)	32	抄紙会社設立出願	陸・海軍省設置
1873	明治 6	帰国。陸軍会計監督就任。	30	陸軍卿：山県	退官(井上馨と共に) 第一国立銀行開業・総監役 (現みずほ銀行)	33	抄紙会社創立 (王子・日本製紙)	地租改正 内務省設置
1874	明治 7		31			34		
1875	明治 8	辰子夫人没。 陸軍第五局副長	32		第一国立銀行頭取	35		
1876	明治 9	伊与子(佐川旧主深尾鼎長女)と結婚③	33		東京会議所会頭	36		
1877	明治 10	西南征伐軍団会計部長	34		王子西ヶ原に別荘建設	37		西南の役
1878	明治 11	陸軍会計監督長 第五局長(大佐級・従五位)	35			38		大久保利通暗殺
1879	明治 12		36		グラント將軍歓迎委員長	39		
1880	明治 13	陸軍会計局長(従四位勲四等)	37		博愛社創立(後に日本赤十字社)	40		
1881	明治 14	陸軍少将任命。 参議院議員	38	参議院議長：伊藤		41		
1882	明治 15	遊就館(靖国神社)建設	39		ちよ夫人死去	42	日本銀行営業開始	鹿鳴館建設(コンドル設計)
1883	明治 16		40		伊藤かねと再婚	43		鹿鳴館開館
1884	明治 17	恩給局長	41		日本鉄道会社理事	44		華族令制定
1885	明治 18	内閣書記官長(従四位) 元老院議員	42	第1次伊藤内閣	日本郵船会社創立 東京瓦斯会社創立	45		内閣制度制定
1886	明治 19		43		東京電灯会社創立	46		
1887	明治 20	子爵。 会計監査院長(従三位)	44		帝国ホテル創立	47		
1888	明治 21		45		札幌麦酒会社創立(サッポロビール) 東京女学館開校	48		市制町村制公布
1889	明治 22	警視総監(山県内閣)	46	岩淵駅設置	東京石川島造船所創立 深川区会議員(15年間)	49		大日本帝国憲法公布 東海道本線開通
1890	明治 23	貴族院議員当選	47		貴族院議員当選	50		第1回帝国議会
1891	明治 24	宮中顧問官兼帝室会計審査局長 芭蕉庵(関口町)建設	48			51		
1892	明治 25	学習院長 勲一等瑞宝章	49		勲四等瑞宝章	52		
1893	明治 26		50			53		
1894	明治 27		51			54		日清戦争勃発
1895	明治 28	宮内次官(正三位)	52			55		日清講和条約調印
1896	明治 29		53		日本精糖会社創立	56		
1897	明治 30	宮内次官辞職	54			57		金本位制施行
1898	明治 31	宮内省図書頭。2月宮内大臣。 皇室経済顧問。蕉雨園着手。	55	第3次伊藤内閣 椿山荘：山県別荘		58	11月慶喜、明治天皇に拝謁	松方内閣退陣
1899	明治 32		56	東宮御所(赤坂離宮)着工		59		東宮御所(片山東熊設計)
1900	明治 33	旭日大綬章。	57		男爵	60		

田中光頭と渋沢栄一

1901	明治 34		58		日本女子大学校開校・会計監督 東京・飛鳥山邸を本邸	61		
1902	明治 35		59	慶喜、江戸城明渡の功績により公爵に	夫人同伴で欧米視察 勲三等瑞宝章	62	ルーズベルト大統領と会見 慶喜、公爵に叙せられる	日英同盟協定調印
1903	明治 36		60			63		
1904	明治 37	日露戦争出征	61			64		日露戦争勃発
1905	明治 38	帰還。伊与子夫人没	62			65		
1906	明治 39	古谿荘用地買収。旭日桐花大綬章 英国勲章受領	63		東京電力会社創立 京阪電鉄会社創立	66		
1907	明治 40	伯爵（正二位） 。蕉雨園完成 古谿荘建設着手	64		帝国劇場会社創立	67		恐慌、株式暴落
1908	明治 41	韓国皇太子嘉礼特使	65	東宮御所完成		68	アメリカ実業家一行招待	
1909	明治 42	新婦人スキャンダル 6月宮内大臣罷免。古谿荘完成	66	岩倉具定宮内大臣 (翌年死去)	企業・団体役員辞任 渡米	69	タフト大統領と会見	
1910	明治 43		67	4月渡邊千秋宮内大臣		70		日韓併合
1911	明治 44		68		勲一等瑞宝章授与	71		
1912	大正 1	古希の会（明治天皇銀杯）	69	宮内省内匠寮足立鳩吉参列	NY日本協会協賛会創立・名誉委員長	72		
1913	大正 2		70		日本結核予防協会創立・副会頭 日本実業協会創立・会長	73	徳川慶喜、死去	
1914	大正 3	岩淵に隠居。青山荘用地買収	71		中国訪問	74		第一次世界大戦勃発
1915	大正 4	明治天皇御銅像献上 大礼記念章	72		パナマ運河開通博覧会・渡米 旭日大綬章	75	ウィルソン大統領と会見	
1916	大正 5	青山荘建設着手	73		実業界引退 「論語と算盤」	76	道徳経済合一説	
1917	大正 6		74		日米協会創立・名誉副会長	77		金本位制停止
1918	大正 7	蒲原に移住。臨時帝室編纂局総裁	75		「徳川慶喜公伝」 栄一著	78		
1919	大正 8		76			79		ヴェルサイユ条約調印
1920	大正 9		77		国際連盟協会創立・会長 子爵授与	80		株式暴落（戦後恐慌）
1921	大正 10		78		渡米	81	ハーディング大統領と会見	
1922	大正 11		79			82		
1923	大正 12		80		大震災善後会創立・副会長	83	天譴論	関東大震災
1924	大正 13		81			84		米国・排日移民法成立
1925	大正 14		82			85		
1926	昭和 1		83		日本放送協会創立・顧問	86	ノーベル平和賞候補	
1927	昭和 2		84		日米親善人形歓迎会主催	87	青い目の人形・市松人形	金融恐慌勃発
1928	昭和 3	高知桂浜龍馬像除幕式参加（5/27）	85		日本航空輸送会社創立・委員長 旭日桐花大綬章	88		
1929	昭和 4		86		従二位	89		世界大恐慌始まる
1930	昭和 5	茨城県大洗町常陽記念館建立 多摩聖蹟記念館建立	87			90		
1931	昭和 6		88			91	雅号 青淵（せいえん）	満州事変
1932	昭和 7		89					
1933	昭和 8	満州国皇帝溥儀に古谿荘献上 (中止)	90	満州国公使一行下検分				
1934	昭和 9		91					
1935	昭和 10		92					
1936	昭和 11	古谿荘、講談社社長野間清治に売却	93					
1937	昭和 12		94					
1938	昭和 13		95					
1939	昭和 14	3月28日逝去。従一位	96	雅号 青山（せいざん）				
1940	昭和 15							
2024	令和 6				一万円札の肖像			